事業所名　ロぺくさなぎ

支援プログラム

作成日　令和７ 年　３　月　１　日

法人（事業所）理念		私たちは利用者の利益を最優先に考え、子どもたちの未来の可能性を広げる支援と心の自立大切にした関わりを提供します。多様で専門的な視点から支援を行うため多職種が協働しセラピストをはじめとする専門職が総合的に関りながら、科学的根拠に基づいた療育に取り組みます。		
支援方針		子どもたちの困り感について、脳のネットワーク機能の障害に基づいた視点と５領域を網羅した視点で捉え、アセスメントを実施します。アセスメント結果を分析し困り感の理由を分析していきます。また活動に子どもたちを無理に合わせるのではなく、子どもたち一人ひとりに適応した活動を提供するため、個別または小集団での活動を計画・実施します。		
営業時間		９　時３０　分から　16 時３０　分まで	送迎実施の有無	(あり)　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	睡眠、食事、排泄などの基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。さらに、社会生活に必要ねIADL（金銭や時間管理、公共交通機関利用）の視点も重視します。学齢期には、二次障害やメンタルヘルスの課題に対応し、自尊感情や自己効力感を育むことで、子どもがこれらの課題を乗り越えられるようにサポートします。		
	運動・感覚	子どもの感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます。また、感覚、知覚、認知の視点を取り入れ感覚入力を正確に処理できるよう、感覚遊びや識別訓練などの課題を提供します。粗大運動では前庭感覚や固有感覚を意識しながら、バランス感覚や姿勢保持を養う活動を行います。繊細運動では、手指の功敏性を高める活動を通じて日常生活や学習に必要なスキルの向上を目指します。		
	認知・行動	読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音読音韻、記憶力を総合的に支援します。これにより、集中力や注意機能、課題処理能力を高め、学習や日常生活の困難を軽減し自信をもって取り組める力を育みます。（アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します。）（英語学習や音楽発語リズムプログラムを組み合わせます）		
	言語 コミュニケーション	視覚力、聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。発語意欲や語彙、ご想起の力を高め、発達を促しながら伝える力や説明力を支援します。必要に応じてICT機器や楽器、ピアノリズム、英語学習を活用し意思伝達や環境理解を支え、状況に応じたコミュニケーション能力の向上を目指します。		
	人間関係 社会性	ルール遊びを通して言語指示の理解や自己コントロールを支援し相手の気持ちを考える機会を提供します。さらに、注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた適切な行動が取れるよう支援します。また、相手の立場を理解し共感する力を育てることで協力や対話を円滑に進める社会性の発達を促します。		
家族支援		家庭環境や子どもの特性を把握するため、定期的な面談や自宅訪問、電話連絡、ライン連絡を通じて課題を共有し、家庭での取り組みに繋げていく支援をしていきます。日々の取り組みを支える相談支援も行っていきます。	移行支援	子どものアセスメント結果や個別支援計画書など支援内容に関する情報をモニタリングや担当者会議、面談等を通じて共有します。
地域支援・地域連携		・地域へのイベント参加や長期休みの地域施設利用・各種関係機関との連携を取る。	職員の質の向上	・管理者、児発管との月1回の打ち合わせを兼ねた研修・職員会議でテーマに沿った研修（年３回）・音楽発語の研修など外部研修参加・スタッフの悩みなど随時サポート体制
主な行事等		・外出訓練、料理活動、造形遊び、季節を取り入れた活動（クリスマスパーティー）・保護者との茶話会（年１回）		